

腎臓・透析科

〔到達目標〕

■GIO (一般目標)

将来の専攻科にかかわらず、急性腎障害・慢性腎臓病および電解質異常などへの対応が重要であることから、代表的疾患の基本を理解し、患者を適切に管理できるようになるための臨床能力を習得し、医師として望ましい態度を身につける。

■SBOs (行動目標)

- (1) 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立できる。
- (2) 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなるメンバーと協調できる。
- (3) 患者の問題を把握し、問題解決型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。
- (4) 患者および医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身につけ、危機管理に参画できる。
- (5) チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行うことができる。
- (6) 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献できる。
- (7) 患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接が実施できる。
- (8) 特に腎不全の病態の正確な把握ができるように、全身の系統的身体診察を実施し、維持透析の適応を診断し、シャント手術の説明を実施できる。
- (9) 腎疾患（腎炎・腎不全・ネフローゼなど）、電解質異常の病態の正確な把握をもとに患者の全身管理に必要な基本的臨床検査を計画し、日常診療を実施できる。
- (10) 主に腎不全の症状・病態から正確な診断ができ、初期治療ができる。
- (11) 初期治療の実施とともに、維持透析への適応を把握できる。
- (12) 維持透析の継続のため、主にシャントトラブルとその修復法も理解する。

■LS (方略)

- ① 病棟・透析センターでの研修が中心になる。
- ② 手術室でのシャント作成術を理解する。
- ③ シャント存続に必要なカテーテル手技を理解する。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金	土
午前	透析センター	シャントDSA	シャントDSA	透析センター	透析センター	手術
午後	回診・病棟	腎臓内科外来	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟

■Ev (評価)

- ① 自己評価: EPOC による形成的評価
- ② 指導医による評価: EPOC による形成的評価と総括的評価
- ③ 看護部、コメディカル等による360° 評価: 独自形式による形成的評価